

予想される暴風についての天気予報をご覧ください。ここに示されたガイドラインは、暴風に備えての準備に役立ちます。

個人の備え

- この「Take Winter By Storm」チェックリストを利用して緊急用キットを準備します。これにはラジオ、懐中電灯、予備の電池、救急箱、緊急連絡先情報、水、保存食を含めます。詳細なリストは、TakeWinterByStorm.org をご覧ください。
- 停電に備えて、懐中電灯、予備の電池、公共サービス会社の連絡先を自宅と職場のすぐに手の届く場所に保管します。

停電

- 暴風の季節には、前もって停電に備えましょう。
 - 電線の付近に木を植える場合、適した木を適切な場所に植え、成長した木が電線の邪魔にならないようにしてください。
 - 所有地内やその周辺の木が電線と干渉する場合は、電力会社に電話してください。
- 停電や切れて垂れ下がった電線は、電力会社に電話で通報してください。
- 切れて垂れ下がった電線、あるいは電線近くのものには近づかないでください。
- 切れて垂れ下がった電線の近くにいることがわかった場合、足をひきずりながら電線から離れ、地面からの感電を避けます。
- 切れて垂れ下がった電線の上を車で走行しないでください。運転中に電線が車の上に落ちた場合、助けが得られるまで車の中にとどまってください。
- 火災その他の危険のために車から離れる必要がある場合、車から飛び出して車と地面に同時に触れないようにします。両足を一緒にして着地し、電線から足を引きずって離れ、安全な場所に避難します。
- 停電したら、懐中電灯を使用してください。ろうそく、石油ランプや直火のものは避けてください。
- 決して炭やガスグリルを室内暖房や料理用に使用しないでください。一酸化炭素中毒の原因となります。
- 自宅の転びそうな場所には、道案内としてライトスティックや小型の懐中電灯を床に置いて使用してください。躓かないように床の上に散らかったものは片付けてください。
- 発電機を操作する際は製造メーカーの説明書に従ってください。停電の前に発電機の操作をテストし、接続や給油については製造メーカーの推奨事項を見直してください。発電機は、屋外でドア、窓や通気孔から離れたところに配置し、一酸化炭素が室内に入らないようにします。
- 発電機は、自宅、車庫、床下空間、納屋その他類似の場所で決して使用しないでください。そういった場所では、致死量の一酸化炭素が急速に蓄積し、発電機を切ったあと何時間も残留する場合があります。
- 電池式の一酸化炭素警報器または予備電池付プラグイン式の一酸化炭素警報器を、製造メーカーの説明書に従って自宅に取り付けてください。電池は頻繁にテストしてください。
- 停電の際や、長期間にわたって出かける場合、事前に連絡用の機器（携帯電話、スマートフォン、ノートパソコン、タブレット）は完全に充電しておきます。予備に、連絡用機器の充電器および車用充電器を持参してください。
- 停電やネットワークの乱れがあって電話が通じない場合は、テキストメッセージを使用します。電源がなくなると、ワイアレス電話は作動しません。有線電話（固定電話）が最も信頼性があります。
- 情報を入手する。電池式または手動発電ラジオを使って、地元のマスコミのチャンネルで、重要な最新情報や指示を入手します。TakeWinterByStorm.orgにあるリンクから、地域の警報システムに登録する方法をご覧ください。

暴風に襲われたら、まず自分自身の安全を確保します。そして家族、友人、隣人が大丈夫か確認します。